

城南家保ニュース Vol.26-5

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

E-mail jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/1018/>



韓国で口蹄疫（O型）が発生しました

7月23日、韓国、慶尚北道義城（ウィソン）郡の豚飼育農場において口蹄疫（O型）が発生しました。その後、7月27日に慶尚北道高靈（コリョン）郡、8月6日に慶尚南道陝川（ハプチョン）郡でも発生が確認されました。

韓国は牛、豚、山羊及び鹿に対して3価混合ワクチン接種（Asia1型、A型、O型）を実施しており、本年5月に国際獣疫事務局（OIE）により口蹄疫のワクチン接種清浄国として認定されていましたが、今回、3年3ヶ月ぶりの再発となりました。

韓国だけでなく、中国、台湾、モンゴル、ロシアなどでも口蹄疫が断続的に発生しています。国内での発生を防ぐために、畜産農家の方々には、飼養衛生管理基準の遵守を徹底していただくとともに、特に下記の事項に留意していただくようお願いします。

- ①農場での人及び車両の出入りに当たり、消毒等を徹底してください。
- ②口蹄疫が発生している国への渡航自粛や、発生国に滞在していたためウイルスを伝播させる可能性のある人及び物品を農場に近づけないよう注意してください。
- ③口蹄疫を疑う症状を呈している家畜を発見した際には、遅滞なく、家畜保健衛生所に連絡してください。

口蹄疫の症状（農水HPより）

口蹄疫とは・・・

牛や豚などがかかる感染力が非常に強い伝染病で、まず発熱や食欲不振が見られ、次によだれを流し、口やひづめ、乳房に水ぶくれができるのが特徴です。

舌の水ぶくれ(初期の症状)



口内のびらん(ただれ)



多量のよだれ(泡沫性)



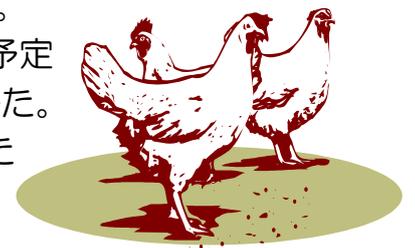
写真:宮崎県

平成26年度熊本県支部鶏病技術研修会が開催されました

去る8月22日、熊本市の熊本農政事務所において、平成26年度熊本県支部鶏病技術研修会が開催されました。当家保からは、佐々木駿技師が「熊本県で発生した高病原性鳥インフルエンザ」について発表しました。平成26年4月13日に発生した高病原性鳥インフルエンザの発生状況、判定～農場再開のための検査内容等の概要を報告しました。

他の家保からは「一採卵鶏農場における脱羽原因の検討」や「肉用鶏飼養農家におけるネズミ対策の現状」など、興味深い話題が提供されました。

なお、これらのうち、当家保の演題が10月に福岡県で開催予定の九州地区鶏病技術研修会における県代表として選出されました。本内容が九州各県の防疫対策の一助となるように、内容を伝えたいと思います。



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国	6月23日	豚	A
	韓国	7月23日、27日、8月6日		O
アフリカ豚コレラ	ロシア	5月15日～7月25日	豚 野生いのしし	-
高病原性 鳥インフルエンザ	韓国	5月15日～7月25日	あひる がちょう	H5N8亜型
低病原性 鳥インフルエンザ	中国	6月3日	家きん	H7N9

※8月8日現在

編集後記

先日、自宅の網戸にカブトムシがとまっていました。部屋の光に呼び寄せられ、網戸に何度も衝突していました。翌日はトンボがとまっており、こちらでも何度も衝突していました。夏は虫の季節です。家畜保健衛生所の敷地内でもタマムシを見かけました。幼いころから虫が好きだったので、この季節は楽しいですが、夏はこれらの虫だけでなく、蚊やアブなども現れます。刺されると痒いだけでなく、家畜では異常産を起こすウイルスや牛白血病などの病気も伝播します。夏は暑さと併せて虫にも注意しましょう。(衛生課 S.S)